



不平、不満、怒りを要求へ、行動へ

政府は、8月の月例経済報告で、国内景気は「緩やかに回復基調が続いている」とした。茂木経済再生担当相は、2012年12月以来、現在まで57カ月景気拡大は続いていると表明した。

しかし、過去と比べ経済成長率や賃金の上昇率は鈍く、力強さにかける。雇用環境は企業収益が過去最高となり、人手不足は強まっている。名目賃金上昇率は2%台と低迷が続いているとメディアは報道している。一方、私たちの労働環境はどうなっているのでしょうか。過労原因の「心の病」労災認定2016年度498人(過去最多)。保育士の心理ケア必要3割。小学校34%、中学校58%の教諭が「過労死」(残業時間が発症前1カ月100時間、発症前2〜6カ月で月当り80時間超)ラインにあると厚労省が発表。

残業代未払い(ホテル日航姫路、兵庫県立西宮病院)。医師の過労自殺(新潟市民病院、東京都内総合病院)。パワハラ深刻(兵庫労働局201

6年4040件相談)成果主義が影響か？

老後はどうか。厚生年金60代後半で約15万円、80代後半は約17万円と、厚労省は示した。国民年金の人はもちろんもっと少なく5万円くらいでしょう。

今年も、最賃が答申された。平均25円アップで、平均848円。東京958円、最低は高知など8県の737円。一日8時間！月25日働いて、16万9600円、年収203万5200円である。これで安心して生活出来るというのであろうか。時給1000円で、年収240万円である。時給1500円で、年収360万円。年金月15万円、年収180万円、月17万円、年収240万円である。

あなたは、今、安心して、働き、生活していますか？ 不平、不満、怒り、要求はありませんか。政治に、社会にどう働きかけようとしていきますか。働きかけを強める以外私たちの生活は守れません。

労働大学企画編集委員 福本 道春